

フラワーセンター（加西市） & バラ園（加東市）

2010年



2010年4月18日 加西フラワーセンター







バラ園 (加東市 播磨中央公園)

2010年5月30日











滝野歴史民族資料館



加古川の舟運^{しゅうん}

文禄3年(1594)今から300年前、生駒玄蕃は滝野村の阿江与助たちに命じて滝野以南を、ついで慶長9年(1604)に、田高村の西村伝入齋と協力して、以北の川底をさらえて高瀬舟の航行を可能にした。それ以来、丹波・東播磨の米や諸物資・筏は、上滝野・新町を中継地としつつ高砂湊まで運ばれ、帰路には塩・干鰯・生活必需品を持ちかえるなど、東播磨の動脈ともいべき役割りを果たしてきた。特に明治6年、多可郡の村上清次郎らによる掘割りの完成は、一層舟運・筏流しを盛んにし、沿岸の諸所に船問屋を中心とした町場を形成し、文化面でも大いに貢献している。大正2年、播州鉄道(現加古川線)の開通とともに300年にわたる幕をとじた。

